

資料 事業（主催）報告書

| | | | | | |
|------|--|------|------------------|-----|------|
| 事業名称 | 第 35 回技術サロン 主催：日本技術士会中国本部ミルフィーユ女性の会 | | | | |
| 開催日時 | 平成 29 年 9 月 16 日（土）13:00～16:00 | | | | |
| 開催場所 | 中国本部事務局会議室 | | | | |
| 関与 | 主催 | 参加人数 | 12 名 (会員 7 名) | CPD | 3 時間 |
| 事業内容 | <p>東京の本部と web 中継を行い、技術サロンを開催した。 最初に技術士を知ってもらうため、本部より技術士制度の説明をしていただき、キャリア形成の一助となる情報提供を行った。 広島の間ではアイスブレイクとして自己紹介を行い、仕事に対する悩み事をはじめキャリア形成、ワーク・ライフ・バランス等について意見交換を行った。</p> <p>「家庭を持ちながらどうやって勉強時間を確保したのか」「結婚しても仕事を続けられるか心配」という若い方の疑問や悩みに「家では勉強できないからカフェで勉強した」「結婚しても子供がいても仕事は続けたいと思ったら続ける方が良い」「技術士に限らず資格をもっていたら人生の選択肢が増える」など、女性技術士から経験を交えた回答を行った。</p> <p>技術士会からスイーツの差し入れがあり、コーヒーとともに楽しみながら話すことができた。 参加者からは「周囲の人にはなかなか聞けず、悩んでいたことを話せて良かった」という感想もいただき、概ね好評だった。 ちょうど、カープの地元優勝がかかった試合が行われており、試合の行方が気になりながらも活発に意見交換がなされた。結局、カープは逆転負けとなった。</p> <p>技術サロンをきっかけに、中国本部の中に女性会員が自由に意見交換できる会を作ることとなり、「ミルフィーユ女性の会」ができた。ミルフィーユはフランス語で「千枚の葉」を意味するお菓子。甘いイメージがあり、色々な意見も出たが、女性技術者の「互いの意見を聞き、尊重できる力」を発揮し、今の名称に決まった。 「ミルフィーユ女性の会」では技術の積み重ねを表しており、女性ということに甘んじるのではなく、「技術者として頑張っているな」と認めてもらえるよう、互いに良い刺激を受けながら研鑽していくことを目標にしている。 女性は男性よりもライフイベントの影響を受けやすく、一人で頑張るには限界もあるからこそ、若い方も女性技術者として前向きに働きたいと思える様に、仕事のやり方や会社への働きかけなどに対して女性技術者として互いに建設的なアドバイスができる様な会にしたい。</p> | | | | |
| |  | | | | |
| 報告者 | 所属氏名：中国地方整備局 北浦直子 住所：広島県広島市中区東白島町 14 番 15 号 NTT クレド白島ビル 13 階 TEL：082-511-3928 FAX：082-511-3910 e-mail：kitaura-n87o1@mlit.go.jp | | | | |

